

テンキースピーカーマイク

取扱要領書

品番 FZ -3 4 5 0 A



便利メモ ●おぼえのため、記入されると便利です。

お買い上げ日	年	月	日	品番	FZ -3 4 5 0 A
販売店名	☎ () -				

(お問合せ先) 三菱電機株式会社

通信システム事業部通信第二部一課

〒104-6212 東京都中央区晴海1-8-12 トリトンスクエアZ-13階

TEL 03-6221-2664

保証書別添付

このたびはテンキースピーカーマイクをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱要領書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

特長

- メモリ機能で簡単操作
 - 接続先を簡単に表示する局番号帳メモリ機能を装備
 - 漢字名称を選択して、全グループ通信、グループ通信、個別通信モードの切り替えや、相手局の呼び出しが可能
- 広域サービスで広がる利用範囲
 - ゾーン切替・ユーザー切替機能で他のゾーンに移動したときでも通信が可能
 - ネットワークで通話ゾーンを結び、ワイドなエリアを実現
- 充実した録音機能
 - 通話内容を録音する通話メモ
 - 相手局から届いた伝言メモの再生が可能
 - 相手局への伝言メモ録音が可能
- その他インテリジェントな機能
 - 漢字メッセージの送信・受信が可能
 - 状態設定、状態表示が可能
 - テンキー入力により、相手局番号、呼出グループ番号の設定が可能
 - テンキー入力により、メニューの選択が可能
 - ひらがな、カタカナ、英字、数字でメール作成が可能

目次

安全上のご注意	5
正しくご使用いただくために	8
構成	8
各部の名称とはたらき	9
キー表示説明	12
電源を入れる / 切る	16
■電源を入れる	16
■電源を切る	16
通話する（発信）	17
■通信モードを切り替えて発信する	18
■局番号帳を利用して発信する	19
通話する（着信）	22
■通話中の全グループ斉受信について	22
■システムー斉について	22
■通話の終了について	23
履歴から発信する	24
■発信履歴から発信する（リダイヤル）	24
■着信履歴から発信する（コールバック）	24
音量を調整する	25
■通話中に音量を調整する	25
■待ち受け中に音量を調整する	25
相手局から呼び出される（選択呼出）	26
不在着信	27
取消セレコール送信	28
通話中の音声を録音 / 再生する（通話メモ）	29
■通話メモ録音を設定する（待ち受け中）	29
■通話メモ録音設定を解除する（待ち受け中）	29
■通話メモを録音する（通話中）	30
■通話メモを録音停止する（通話中）	30
■通話メモを再生する	31
特定の相手局を呼び出す（選択呼出）	32
■通信中にセレコールを送る	34
伝言メモ、メールを送る	35
■相手局に伝言メモを送る	35
■相手局にメールを送る	36
■メールを再度送信するには	38

目次（つづき）

伝言メモ、メールを確認する	39
■ 届いたメールを確認する	39
■ 届いたメールを消去する	40
■ 伝言メモを再生する	41
■ 伝言メモを消去する	41
自ゾーンを切り替える	42
広域接続先を切り替える	43
■ 広域接続先を変更する	43
■ 広域接続先を解除する	44
ユーザーを切り替える	45
自局情報を確認する	47
コントラストを調整する	49
詳細確認	50
グループ設定	51
状態を設定する	52
■ 状態を設定する	52
■ 状態の設定を解除する	53
キーロック設定・解除	54
ケタ数 / 件数一覧	55
メッセージ一覧	56
保守	58
故障と思われる前に	59
用語・機能説明一覧	60
仕様	62
保証とアフターサービス	63

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

車を運転しながら使用しない



禁止

交通事故の原因となります。

- 運転者が操作するときは、車を安全な場所に止めてからご使用ください。

運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にする



交通事故の原因となることがあります。

⚠ 警告

心臓ペースメーカー装着者に配慮して、人込みでは電源を切る



本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

心臓ペースメーカー装着者は使用しない



禁止

本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

病院内や医用電気機器のある場所には持ち込まない



禁止

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない



禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

⚠ 注意

分解や改造をしない



分解禁止

異常動作したり、けがをすることがあります。

- 故障の際は販売店へご相談ください。

前方視界や運転操作を妨げない取り付けをする



交通事故の原因となります。

ぬらさない



禁止

水が入ったり、ぬらした場合、火災、感電の原因となります。

- 内部に水などが入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源ケーブルを外して販売店にご連絡ください。

煙が出たり、変な臭いがするなどの異常時は使用しない



禁止

そのまま使用すると、火災、感電、事故の原因となります。

- 本機の電源スイッチを切り、電源ケーブルを外して販売店にご連絡ください。

指定以外の装置に接続しない



禁止

火災、感電、故障の原因となります。

コードを破損させない



禁止

無理にねじる、引っ張る、踏みつけると破損につながり、ショートや発熱により、火災、感電の原因となります。

- コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

正しくご使用いただくために

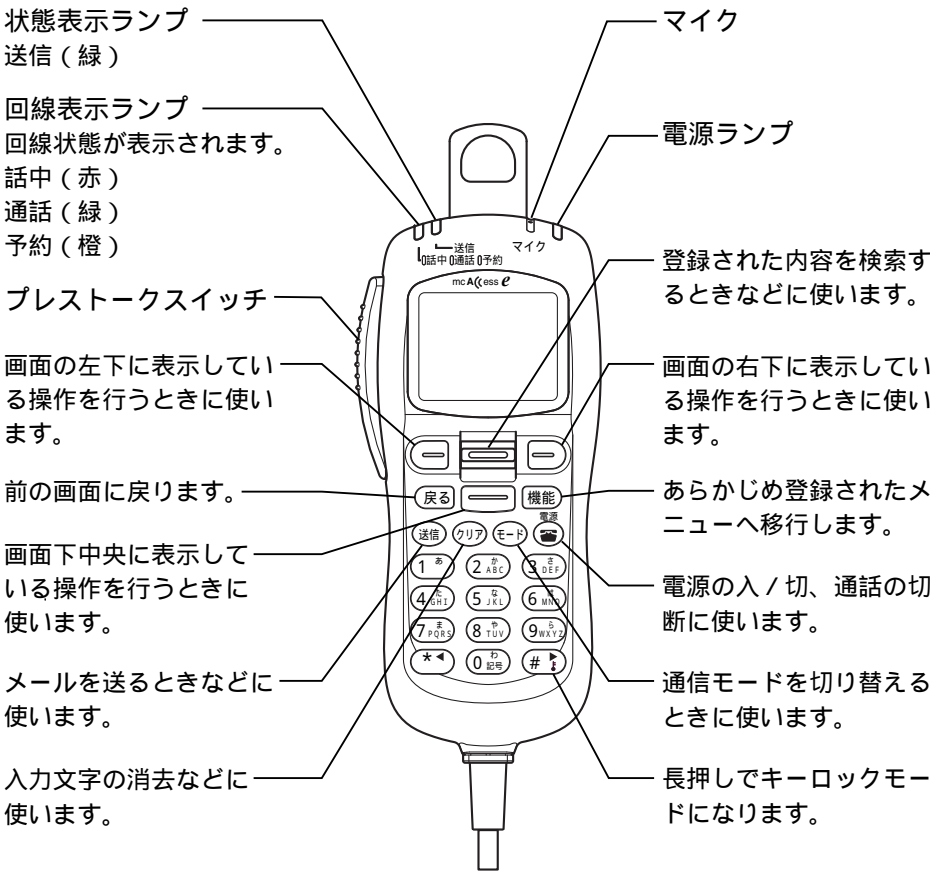
- 取り付けおよび運用上の注意
- マイクケーブルや無線機のアンテナは、確実に接続してください。
マイクのコードは強く引き伸ばしたままにしないでください。
コードの断線などにより故障の原因になります。
 - 運転中は、車外の音が聞こえる程度の音量にして、安全運転に心がけてください。
 - 電波法により、無線機やマイクを分解、改造、指定以外の装置を接続することは禁じられています。
 - 直射日光や熱風のあたる場所、水のかかる場所の設置は避けてください。
真夏に長時間、屋外駐車をしたときは車内の温度が高くなりますので、温度を下げてからご使用ください。
 - 極端な高温・低温の環境下での利用は避けてください。
故障の原因となります。
推奨使用環境：温度 0 ～ +40
 - サービス地域内でも、通話中、下記の場所に移動したときは通話がとぎれることがあります。
電波の届かない場所（トンネル内など）
電波の弱い場所（ビル陰など）
 - マイク利用の際はマイクから約 5 cm 離してご利用ください。
距離が近いと、音声割れたり、歪むことがあります。
 - 掃除にシンナーやアルコールなどを使わないでください。
 - 内部の点検・修理は販売店などに依頼してください。
 - 年に一度は内部の掃除を販売店などにご相談ください。
長い間掃除を行わずに、本体の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。

構成

品 名	数 量	備 考
本体	1	
マイクフック	1式	取付ネジ付属
取扱要領書	1	
保証書	1	

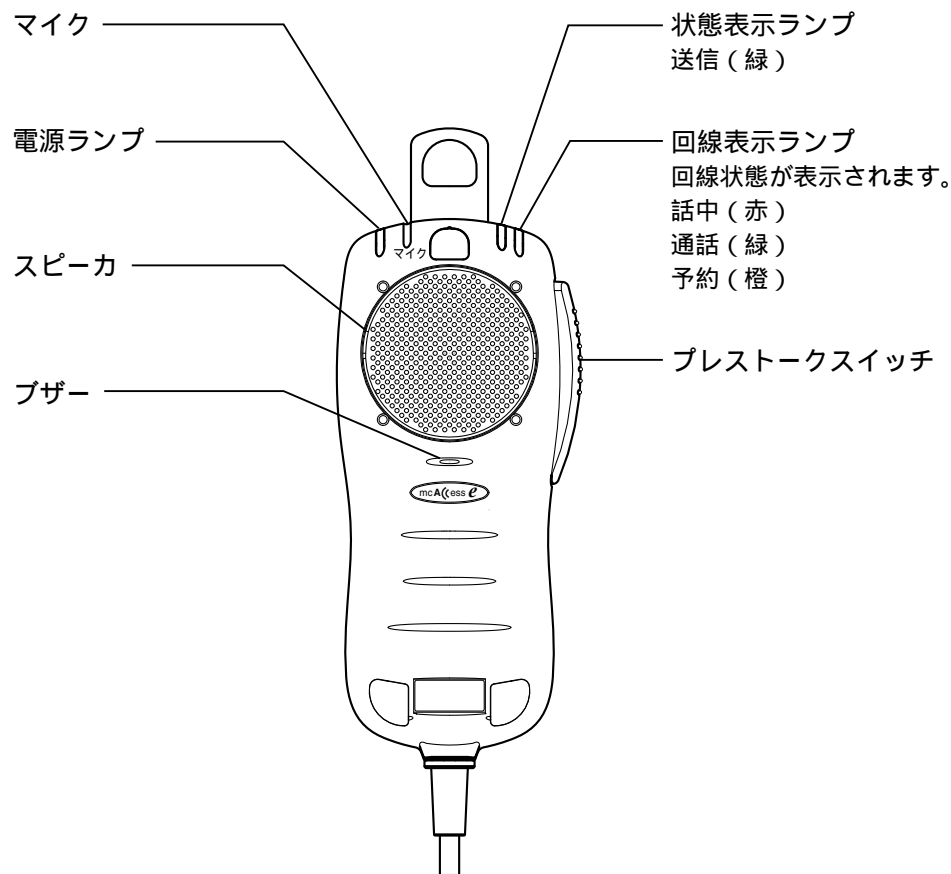
各部の名称とはたらき

前 面



各部の名称とはたらき（つづき）

後面



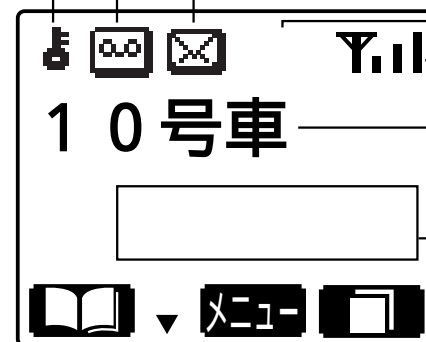
表示部

< 待ち受け中 >

キーロック状態の時表示されます。

通話メモが設定されていると表示されます。

未確認の伝言メモ、メールがある場合に表示されます。



回線状態が表示されます。使用できない場合には「話中」と表示されます。

受信電界強度が3段階で表示されます。mAccess eサービスエリア外や電波の届いていない所では「圏外」と表示されます。

発信相手局が表示されます。

設定により「状態」、「自ゾーン」、「通信時限」が表示されます。

「」が表示されているときにを押すと、発信履歴または着信履歴が表示されます。

「」が表示されているときにを押すと、メニューが表示されます。

「」が表示されているときにを押すと、局番号帳が呼び出されます。

< 通話中 >



回線状態が表示されます。

「通話」、「話中」、「送信」、「予約」

通信相手局の名称または番号が表示されます。

通信モードが表示されます。

「一斉」(全グループ一斉)

「全グ」(全グループ)

「グル」(グループ)

「個別」(個別)

「シス」(システム一斉)

通話残時間が表示されます。

「」が表示されているときにを押すと、セレコール番号帳を表示します。

セレコール機能を使用するためには、販売店での保守設定が必要です。

画面下の操作を行うときにそれぞれのキーを押します。

「」が表示されているときにを押すと、通話メモ録音を停止します。

キー表示説明

ガイドキー説明

No.	ガイダンス	キー名称	備 考
1		局番号帳キー	・ガイドキー(左)に対応(待ち受け画面、メニュー画面) ・局番号帳画面を表示する
2	▲	上キー	・カーソルの移動、受信メール本文の前ページ表示 ・音量調整 コントラスト調整
3	▼	下キー	・カーソルの移動、受信メール本文の次ページ表示 ・音量調整 コントラスト調整
4		メニューキー	・ガイドキー(中)に対応(待ち受け画面、通話画面) ・メニュー画面へ移行
5		履歴キー	・ガイドキー(右)に対応(待ち受け画面、メニュー画面) ・履歴画面を表示する
6		入力キー	・ガイドキー(中)に対応(ヨミ検索画面、メール作成画面) ・入力した文字の確定
7	   	かなキー	・ガイドキー(右)に対応(ヨミ検索画面、メール作成画面) ・文字モードの切替 ・メール編集時は以下の順で切り替わる かな→カナ→英字→数字→かな・・・ ・ヨミ検索時は以下の順で切り替わる カナ→英字→数字→カナ・・・
8		前頁キー	・ガイドキー(左)に対応(局番号帳画面、セレコール番号帳画面) ・前ページの画面を表示する
9		次頁キー	・ガイドキー(右)に対応(局番号帳画面、セレコール番号帳画面) ・次ページの画面を表示する
10		選択キー	・ガイドキー(中)に対応(局番号帳画面、発信履歴画面、着信履歴画面、セレコール番号帳画面、受信メール一覧画面、送信メール一覧画面、メニュー画面、その他画面) ・各選択先画面を表示する
11		録音キー	・ガイドキー(左)に対応(通話画面) ・通話メモ録音の開始をする
12		停止キー	・ガイドキー(右)に対応(伝言メモ再生画面、通話メモ再生画面) ・再生時は再生停止 ・通話時は通話メモ録音停止

No.	ガイダンス	キー名称	備 考
13		セレキー	・ガイドキー(右)に対応(通話画面) ・セレコール番号帳画面を表示する
14		決定キー	・ガイドキー(中)に対応(セレコール番号帳画面、発呼メニュー画面、通話メモ設定画面、自ゾーン切替画面、広域ゾーン設定画面(第1階層)、ユーザ切替画面、状態設定画面、グループ番号設定画面) ・各設定確定
15		切替キー	・ガイドキー(右)に対応(発信履歴画面、着信履歴画面、受信メール一覧画面、送信メール一覧画面) ・発信履歴画面 ↔ 着信履歴画面の切替 ・受信メール一覧画面 ↔ 送信メール一覧画面の切替
16		定型文キー	・ガイドキー(左)に対応(メール作成画面) ・定型文を表示する
17		発呼キー	・ガイドキー(中)に対応(詳細確認画面、受信メール本文画面、送信メール本文画面) ・発呼を行う
18		巻戻キー	・ガイドキー(左)に対応(通話メモ再生画面) ・通話メモ再生の巻き戻し動作をする
19		再生キー	・ガイドキー(左)に対応(通話メモ設定画面) ・再生を開始する
20		地域キー	・ガイドキー(右)に対応(広域ゾーン設定画面(第1階層)、(第2階層)、(第3階層))
21		返信キー	・ガイドキー(右)に対応(受信メール本文画面) ・メール編集画面を表示する
22		再送キー	・ガイドキー(右)に対応(送信メール本文画面) ・メールの再送を行う
23		確認キー	・ガイドキー(中)に対応(自局情報画面) ・自局情報表示解除(待ち受け画面又は各通話画面を表示する)

キー表示説明（つづき）

その他のキー説明

No.	キー表示	キー名称	備 考
1	プレス(表記無し マイク横押し)	プレスキー	・現在選択中の相手局に発呼を行う ・相手局を選択していない場合はモード設定先に発呼を行う
2		送信キー	・待ち受け画面、局番号帳画面、発信履歴画面、着信履歴画面、セレコール番号帳画面、現在選択中の相手局に発呼&セレコールを行う ・通話画面で表示している相手局番号にセレコール送信を行う ・送信メールのメール作成画面、送信メール履歴の送信メール本文画面でメール送信を行う ・伝言メモ送信画面で伝言メモを送信する ・取消セレコール送信画面で取消セレコールを送信する
3		戻るキー	・前画面へ遷移する ・メニュー画面からは必ず待ち受け画面又は通話画面に遷移する
4		機能キー	・設定先へ遷移する
5		クリアキー	・待ち受け画面(番号入力中)、ヨミ検索画面、局番号帳番号入力画面、メール作成画面で1文字クリアを行う(長押し押下で全クリアを行う) ・受信メール履歴画面、送信メール履歴画面、発信履歴画面、着信履歴画面で履歴のクリアを行う
6		モードキー	・待ち受け画面でモード切替を行う
7		電源キー	・通話状態時に終話を行う ・長押し押下で電源入/切を行う
8		1キー	・待ち受け画面(番号入力中)、通話画面番号入力中、グループ設定画面で番号入力を行う ・ヨミ検索画面、メール作成画面で文字入力を行う
9		2キー	・上記と同じ
10		3キー	・上記と同じ
11		4キー	・上記と同じ
12		5キー	・上記と同じ
13		6キー	・上記と同じ
14		7キー	・上記と同じ

No.	キー表示	キー名称	備 考
15		8キー	・上記と同じ
16		9キー	・上記と同じ
17		0キー	・上記と同じ
18		# キー	・待ち受け画面で長押しによりキーロック設定(通話画面では解除のみ有効) ・メール作成画面でカーソルを左に移動する
19		* キー	・メール作成画面でカーソルを右に移動する

電源を入れる / 切る

(準備)

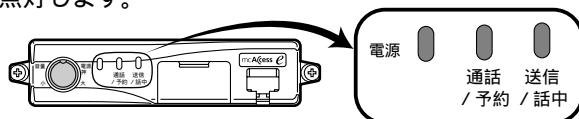
- 音量調整はテンキースピーカーマイクの  (▲、▼) のみ有効です。無線機本体の音量つまみを有効にする場合は、あらかじめ販売店での保守設定が必要です。
- 無線機本体の音量つまみを有効に設定した場合、電源を入れたときに大音量や小音量になることを防ぐため、あらかじめ音量つまみを中央の位置に合わせてください。
- テンキースピーカーマイクの  (▲、▼) のみ有効の場合でも、無線機本体の音量つまみを中央の位置に合わせることをおすすめします。



電源を入れる

- 1 無線機本体の電源スイッチまたは、テンキースピーカーマイクの  を押す

無線機本体の全てのランプが緑色に点灯した後、通話 / 予約ランプと送信 / 話中ランプは赤色点灯に変わり、テンキースピーカーマイクの表示部が点灯します。

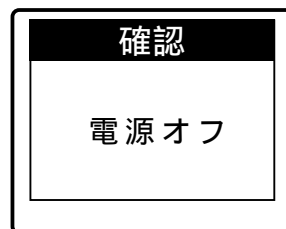


電源を切る

- 1 無線機本体の電源スイッチまたは、テンキースピーカーマイクの  を 1 秒以上押す

「電源オフ」と表示された後、電源ランプ以外の全てのランプが消灯し、電源キーを離すと電源ランプが消灯し、電源が切れます。

- 「電源オフ」と表示されている間は、キー操作を行わないでください。



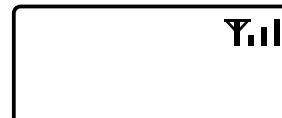
参 考

- 電源を入れると、移動無線センターへ位置登録を行います。登録中は、無線機本体の送信 / 話中ランプと、テンキースピーカーマイクの回線表示ランプが赤色に点灯します。移動局情報が更新された場合は、「移動局情報をダウンロードしています」と表示されます。ダウンロード中は、無線機本体の送信 / 話中ランプとテンキースピーカーマイクの回線表示ランプが赤色に点滅します。

通話する (発信)

次の内容を確認してから通話してください

圏内になっていますか



- 圏外と表示されているときは、m cAccess eサービスの圏外です。電波が届き、Y マークが点灯する地点まで車を移動してください。

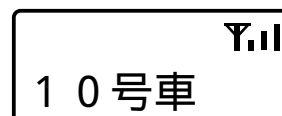
m cAccess eサービス圏内 電波が届く地点でもゾーンの設定が異なっているときは、「話中・圏外」が点灯し、通話できません。ゾーンの設定については、「自ゾーンを切り替える」(P 42) を参照願います。

電波の強い地域ですか



- マイクの表示部で電波の強さを確認してください。アンテナマーク 2 本以上が目安です。m cAccess eサービスエリア内でもビル陰など電波の弱い地域があります。

通信 / 接続先相手番号は正しいですか



- 通話したい相手局を設定してから発信してください。

通話する（発信）（つづき）

通信モードを切り替えて発信する

発信する通信モードに切り替えて、プレストークスイッチを押して発信します。

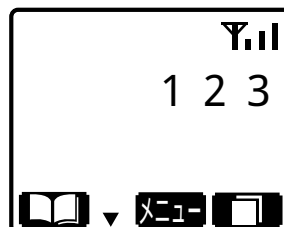
1 モードを切り替える

モードを押すことで全グループ→グループ→個別→一斉の順にモードを切り替えます。



2 発信相手局を入力する

通信モードが、グループ、個別のとき、呼び出し先グループ番号、相手番号をテンキーより入力します。

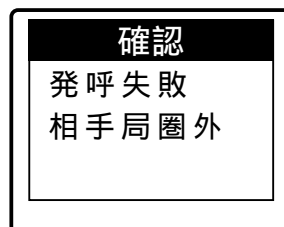
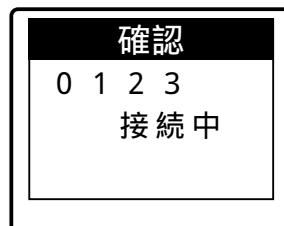


3 プレストークスイッチを押す

発信します。

接続が成功すると、テンキースピーカーマイクの回線表示ランプが緑色に点灯し、「ピピーッ」と鳴ります。

接続に失敗すると「ブブブブッ」と鳴ります。



局番号帳を利用して発信する

1 局番号帳を呼び出す

（）を押します。

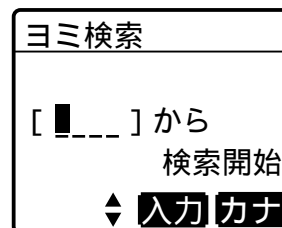
ヨミ検索画面が表示されます。

呼び出したい局名称を入力（最大4文字）し、

（、）を押します。

（）を押すごとに【カナ】→【英字】→【数字】と入力文字を切り替えます。

検索は、局番号帳登録のカナ順に従い、頭出し検索を行います。



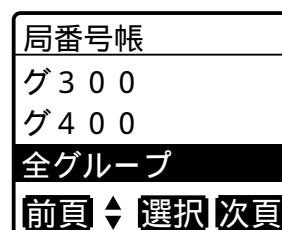
2 接続する相手局の名称を選択する

（、）を押すと、選択局が替わります。2秒以上押し続けると3ページごとにスクロール表示されます。

（）（）を押すと次ページを表示します。

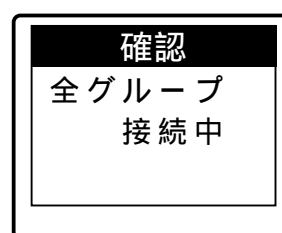
（）（）を押すと前ページを表示します。

（）（）を押すとメニュー画面を表示します。



3 プレストークスイッチを押す

発信します。



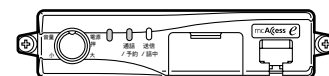
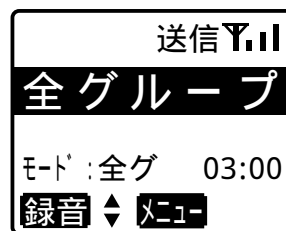
参 考

- グループ通信モードでグループ番号をテンキーより入力するには、販売店での保守設定が必要です。

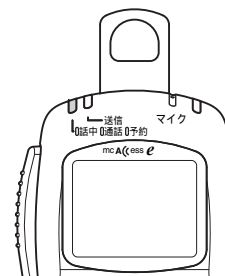
通話する（発信）（つづき）

4 通話する

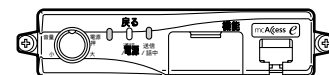
- ・ こちらの音声を送るときは
プレストークスイッチを押しながら
話す
テンキースピーカーマイクの状態表示ランプ
が緑色に点灯し、「ピッ」と通話指示音が鳴っ
てからお話してください。
お話しできない場合は「プッププッ」と鳴
ります。
- ・ 相手から音声を受けるときは
プレストークスイッチを離す
回線表示ランプが赤色に点灯し、相手局の名
称または個別番号が表示され、音声聞こえ
ます。



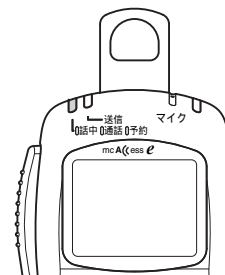
- 無線機本体 : 通話 / 予約ランプ
 (橙) 点灯
マイク : 回線表示ランプ
 (橙) 点灯
鳴音 : ピーポーパー



- 回線表示ランプが橙色に点灯したら
予約状態です。
回線が混み合っていて「通話」の許可がないと
きは、「ピーポーパー」と予約通知音が鳴り、「予約
しばらくお待ち下さい」と表示されます。
予約が解除され、テンキースピーカーマイクの回線
表示ランプが緑色に点灯し、「ピピーッ」と鳴ったら
通話してください。



- 無線機本体 : 送信 / 話中ランプ
 (赤) 点灯
マイク : 回線表示ランプ
 (赤) 点灯
鳴音 : プッププッ



- 回線表示ランプが赤色に点灯したら
圏外または発信禁止状態です。
中継局が接続を規制しているなど、発信ができない
状態の時は、「通話」や「予約」にならず、テンキー
スピーカーマイクの回線表示ランプが赤色に点灯し、
「プッププッ」と音が鳴り、「発呼失敗」と表示さ
れます。
通信中などの場合は、失敗理由が表示されます。
また、個別通信モードの発信で、相手局が通信中
の場合は「ブーブー」と音が鳴り、「発呼失敗 相
手局話中」などと表示されます。

参 考

- 局番号帳から個別局を選択して発信するには、待受け画面の通信モードを個別
に設定してください。
- 全グループ一斉通信を行うには、あらかじめ販売店での保守設定が必要です。
- 個別通信中は、通信中にゾーンを切り替える場合があります。このとき「プププ」
と鳴り、切り替え中であることを知らせます。
- 発信局は、通信の始めの2秒間送信をします。この間にプレストークスイッチを
押して確実にお話しができるようにしています。

通話する（着信）

通話を受けると、通話を受けたときの通信モード、相手局の名称または番号が表示され、各種着信音にてお知らせします。

通信モード	着信音
全グループ斉通信	ピーポーピーポー
全グループ通信	なし
グループ通信	なし
個別通信	ピッポー
システム一斉通信	ピーポーピーポー

各種着信音は販売店の保守設定により異なります。

< 全グループ通信モード着信時 >

1 通話する

- ・こちらからの音声を送るときは
プレストークスイッチを押しながら
話す
テンキースピーカーマイクの状態表示ランプ
が緑色に点灯し、「ピッ」と通話指示音が鳴っ
てからお話してください。
- ・相手から音声を受けるときは
プレストークスイッチを離す
回線表示ランプが赤色に点灯し、相手局の名
称または個別番号が表示され、音声聞こえ
ます。



通話中の全グループ一斉受信について

通話の途中で全グループ一斉受信が行われると、通話は強制終了となり、全グループ一斉の通話となります。
この場合は、全グループ一斉の通話となるまで予約状態となります。

システム一斉について

- 各移動無線センター（中継局）からの通知があったときに、鳴音にてお知らせします。
- 全グループ一斉受信と同様に「ピーポーピーポー」と音が鳴ります。
 - システム一斉通信中は、通話を受けるまたは録音する動作のみで、こちらから送信することができません。
 - 通話の途中でシステム一斉受信が行われると、システム一斉の通話となるまで予約状態となります。

通話の終了について

- 終話について
通信制限時間が過ぎると終話となります。
通話制限時間の約10秒前に「ピッ」と終話予告音が鳴ります。終話の際には「ポー」と終話音が鳴ります。
単信通信時は通信制限時間内であっても、自局および相手局がともに送信していない時間が約5秒以上続くと終話になります。
トンネル内などで、電波が10秒以上届かないときにも終話になります。
残時間表示は目安です。0秒と表示されてから終話まで、しばらく時間がかかる場合があります。

- 強制終話・切断について
通信中に通信を抜ける機能です。
全グループ、グループ通信中のとき
プレストークスイッチを離し、を押します。
発信局は、相手局も同時に終話し、切断となります。
着信局は、自局のみ通信を終話します。
自局のみ終話する場合は、用件が済んだことを確認の上、ご自身の責任で操作してください。
通信の始め6秒間は、終話操作できません。
個別通信中のとき
操作は全グループ、グループ通信と同様です。
個別通信のときは、相手局も同時に終話しますので切断という扱いになります。
全グループ一斉、システム一斉の通信中では終話や切断はできません。

参 考

- 相手局の名称を表示するためには、あらかじめ販売店での保守設定が必要です。
- 個別通信中は、通信中にゾーンを切り替える場合があります。このとき「ブブブ」と鳴り、切り替え中であることを知らせます。
- 通信の始めの2秒間は、発信局から優先的にお話しできるように自動的に発信局が送信します。

履歴から発信する

発信履歴から発信する（リダイヤル）

- 1  () を押す
最新の10件の発信相手局の名称、または通信モードと相手局の番号が表示されます。
- 2  (、) を押し、発信相手局を選択する
- 3 プレストークスイッチを押す
発信します。

発信履歴
0 1 2
指令局
9 9 9 指令
◆ 選択 切替

発信履歴
0 1 2
指令局
9 9 9 指令
◆ 選択 切替

着信履歴から発信する（コールバック）

- 1 「発信履歴から発信する（リダイヤル）」の
手順1の操作をして
 () を押す
最新の10件の個別で呼び出された相手局の名称
または通信モードと相手局の番号が表示されます。
- 2  (、) を押し、発信相手局を選択する
- 3 プレストークスイッチを押す
個別通信モードで発信します。

着信履歴
指令局
0 2 0 班長
0 2 3
◆ 選択 切替

着信履歴
指令局
0 2 0 班長
0 2 3
◆ 選択 切替

参 考

- 操作中に  を押すと、全件削除され、「発信履歴を全件消去しました」と表示されます。
- 手順3で選択した相手局のユーザーが現在設定されているユーザーと異なる場合は、「ブップブッ」と鳴るか、キー誤操作音が鳴り、「ユーザが異なります」と表示され、発信できません。

音量を調整する

通話中に音量を調整する

- 1  (、) を押す
現在の音量の値が表示されます。
- 2  (、) を押して音量を調整する
 () を押すと大きく、 () を押すと小さくなります。
約3秒後に、元の画面に戻ります。

参 考

- 無線機本体の音量つまみは効きませんのでご注意ください。
- 無線機本体の音量つまみを使用する場合は、あらかじめ販売店での保守設定が必要です。無線機本体の音量つまみを使用している場合は手順2で「音量調整はできません」と表示されます。無線機本体の音量つまみを回して調整してください。音量の調整のしかたは、無線機本体の取扱説明書をご覧ください。

待ち受け中に音量を調整する

- 1  () を押し、「9 音量調整」を選択し、 () を押す
テンキーより  を押すことでも選択できます。
- 2  (、) を押して音量を調整する
 () を押すと大きく、 () を押すと小さくなります。
 を2回押すと、元の画面に戻ります。

通話 
1 0 号車
モード: 個別 02:00
録音 ◆ 

受話音量

◆

受話音量

◆

相手局から呼び出される（選択呼出）

相手局が折り返し連絡してほしいとき（相手局から選択呼出を受けたとき） 相手局の名称または番号が表示され、着信音（マルチコール）で知らせます。

< 例 >

123号車から呼び出されたとき

- マルチコール(連続音)で呼び出されると
「ピッポー」と個別着信音が連続して鳴り、相手局の名称または番号が表示されます。
プレストークスイッチまたは、いずれかのキーを押すとマルチコールが停止します。
マルチコールを受けたときは、プレストークスイッチを押すだけで着信したモードで折り返し発信をすることができます。

確認
0 1 2 3 呼出しあり

不在着信

相手から個別呼び出しを受け応答しなかった場合、不在着信音が鳴動します。

< 例 >

10号車から呼び出されたとき

「ピッポー」と個別着信音が連続して鳴り、相手局の名称または番号が表示されます。
プレストークスイッチまたは、いずれかのキーを押すと不在着信音が停止します。
不在着信を受けたときは、プレストークスイッチを押すだけで個別通信モード折り返し発信をすることができます。

確認
1 0 号車 呼出しあり

参 考

- 本機能を使用するには、販売店での保守設定が必要です。
- 送信局の保守設定により、「ピッポー」を鳴らして終える、モノコール呼び出しが可能です。ただし、送ってきた相手局に折り返し発信をすることはできません。

参 考

- 本機能を使用するには、販売店での保守設定が必要です。
- メールを着信した場合は、受信メール履歴のみ残し不在着信にはなりません。

取消セレコール送信

着信音（マルチコール）と不在着信音鳴動を停止させることができます。

着信音（マルチコール）鳴動中に取消セレコールを受信すると、着信音（マルチコール）鳴動が停止し、待受画面に戻ります。

不在着信鳴動中に取消セレコールを受信すると、不在着信音鳴動が停止し、呼出し画面表示のままとなります。

- 1  () を押し、「3 取消セレコール送信」を選択し、 () を押す
テンキーより  を押すことでも選択できます。

取消セレコール送信

10号車
送信キーを
押して下さい

- 2  を押す

確認

10号車
接続中

↓ 数秒後

確認

成功

通話中の音声を録音 / 再生する（通話メモ）

通話中に音声を録音したり、録音した音声を再生して聞くことができます。

通話メモ設定中は、 が表示されます。

通話メモ録音を設定する（待ち受け中）

- 1  () を押し、「7 通話メモ設定」を選択し、 () を押す
テンキーより  を押すことでも選択できます。
現在の設定が表示されます。
( が表示されている場合は、録音待機状態です)

- 2  () を押す
「プププ」と鳴り、設定が完了したことを知らせます。
録音待機状態です。通話が始まると、自動で録音が始まります。

通話メモ設定

☐  録音設定

再生 決定

確認

通話メモ録音
開始しました

通話メモ録音設定を解除する（待ち受け中）

- 1  () を押し、「7 通話メモ設定」を選択し、 () を押す
テンキーより  を押すことでも選択できます。
現在の設定が  で表示されます。

- 2  () を押す
「プププ」と鳴り、設定が完了したことを知らせます。

通話メモ設定

☒  録音解除

再生 決定

確認

通話メモ録音
停止しました

参 考

- 単信通信の場合、お話しをしていない間は録音されません。
- 複信通信の場合は、相手局の音声のみ録音します。

通話中の音声を録音 / 再生する(通話メモ)(つづき)

通話メモを録音する(通話中)

1 が消灯しているときは (録音) を押す

(すでに が表示されているときは録音実行中です)

- 「通話メモ録音開始しました」と表示され、録音が始まります。
通話内容は60秒間録音されます。60秒経過しても録音は停止せず、常に最新の60秒を録音し続けます。



通話メモを録音停止する(通話中)

1 が点灯しているときは (停止) を押す

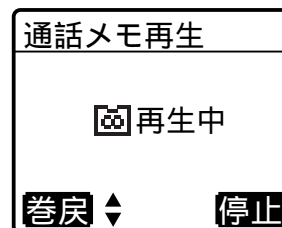
- 「通話メモ録音停止しました」と表示され、録音が停止されます。
過去60秒間の録音が保持されています。
- 再度 (録音) を押すと録音が再開されます。
このとき、前回の録音内容は消去されます。



通話メモを再生する

1 (再生) を押し、「6 通話メモ再生」を選択し、 (選択) を押す
テンキーより (6) を押すことでも選択できます。
録音した音声は10秒前から再生されます。

- 再生を行っている途中で中止したいときは、 (停止) を押します。
停止または終了すると通話メモ設定画面になります。再生をすると、通話メモ設定は解除されます。
- (機能) に再生を割り当てている場合は、 (機能) を押します。(あらかじめ販売店での保守設定が必要です)
- (巻戻) を押すと、20秒前、30秒前、60秒前から再生します。
2秒以上押すと、先頭より再生します。
- 再生中に個別通信を着信した場合は、通信になります。
- (音量) (▲、▼) で音量を調整します。



参 考

- 通話メモの内容は、電源を切ると消去されます。ただし、無線機本体の設置のしかたにより、異なりますので、販売店にご相談ください。
- 録音時間は、販売店での保守設定により変更できます。

特定の相手局を呼び出す（選択呼出）

特定の相手局を呼び出し、相手局にマルチコールの鳴音をさせることができます。

1 局番号帳を呼び出す

☰ () を押します。
ヨミ検索画面が表示されます。
呼び出したい局名称を入力（最大4文字）し、
☰ (▲、▼) を押します。
☰ を押すごとに【カナ】→【英字】→【数字】
と入力文字を切り替えます。
検索は、局番号帳登録のカナ順に従い、頭出し
検索を行います。

ヨミ検索

[_ _ _] から

検索開始

◆ 入力 カナ

2 接続する相手局の名称を選択する

あらかじめ本体にメモリ登録してある場合は、
☰ (▲、▼) を押すごとに登録した番号
が表示されます。

局番号帳

0 1 0

0 2 0 班長

0 2 3

前頁 ◆ 選択 次頁

3 を押す

「ピッポー」と鳴り、相手局にマルチコールの鳴音をさせていることを知らせます。

確認

全グループ
接続中

確認

成功

3秒後

通話

0 2 0 班長

モード : 全グ 03:00

録音 ◆ メニュー セレ

参 考

- 本機能を使用するためには、販売店での保守設定が必要です。
- 手順1で ☰ () を押して、履歴から発信することもできます。

参 考

- 手順2で、あらかじめ本体にメモリ登録していない場合は、テンキーで相手番号を入力し、 を押します。
- 相手局への選択呼出に失敗したときは、「ピーッ」と鳴り、相手局の名称または番号と、次のようなメッセージが表示されます。
「送信失敗」・・・相手局が受信できなかったとき
「他局呼出中」・・・相手局が他の無線局から選択呼出を受けていて、マルチコール中のとき
- 相手局にモノコールの鳴音をさせるには、あらかじめ販売店での保守設定が必要です。

特定の相手局を呼び出す(選択呼出)(つづき)

通信中にセレコールを送る

- 1 通信中に、 (**セレ**) を押す
送信メニューを表示します。

通話 
0 2 0 班長
モード: 全グ 03:00
録音   セレ

2 セレコール番号帳を呼び出す

ヨミ検索画面が表示されます。
呼び出したい局名称を入力(最大4文字)し、
 (**▲**、**▼**) を押します。
 を押すごとに【カナ】→【英字】→【数字】
と入力文字を切り替えます。
検索は、局番号帳登録のカナ順に従い、頭出し
検索を行います。

ヨミ検索
[] から
検索開始
 入力 カナ

3 接続する相手局の名称を選択する

 (**▲**、**▼**) を押すと、選択局が替わります。
2秒以上押し続けると3ページごとにスキップ
表示されます。
 (**次頁**) を押すと次ページを表示します。
 (**前頁**) を押すと前ページを表示します。
 (**決定**) を押すとセレコールを送ります。

セレコール番号帳
0 1 0
0 2 0 班長
0 2 3
前頁  決定 次頁

参 考

- 手順3であらかじめ本体にメモリ登録していない場合は、テンキーで相手局番号を入力し、 を押します。

伝言メモ、メールを送る

相手局に伝言メモを送る

- 1  () を押す
ヨミ検索画面が表示されます。
呼び出したい局名称を入力し、 (**▲**、**▼**)
を押します。

ヨミ検索
[] から
検索開始
 入力 カナ

2 接続する相手局の名称を選択する

あらかじめ本体にメモリ登録してある場合は、
 (**▲**、**▼**) を押すごとに登録した名称
が表示されます。

局番号帳
0 1 0
1 0 号車
0 2 3
前頁  選択 次頁

3 (**選択**) を押す

メニュー
1 メール送信
2 伝言メモ送信
3 取消セレコール送信
  選択 

- 4  (**▼**) を押し、「2 伝言メモ」
を選択し、 (**選択**) を押す
テンキーより  を押すことでも選択できます。

伝言メモ送信
1 0 号車
送信キーを 押して下さい

5 を押す

確認
1 0 号車
接続中

伝言メモ、メールを送る（つづき）

6 呼び出し成功音「ピッポー」が鳴ったら、 プレストークスイッチを押し、 「ピッ」と鳴ったら話す

残時間カウント中は、録音できます。
録音時間は約20秒です。

確認
伝言メモ 録音中 残 1 2 秒

7 終了する場合は、プレストーク スイッチを離す

参 考

- 手順2で、あらかじめ本体にメモリ登録していない場合は、テンキーで相手局番号を入力し、メニューから伝言メモ送信を選択します。
- 伝言メモ録音に失敗したときは、「ピーッ」と鳴り、次のようなメッセージが表示されます。
「送信失敗」……………相手局がサービスエリア外や電波の弱い地域にいるため受信できなかったとき
「メール空なし」……………相手局にすでに伝言メモが全て録音されているとき
「機能なし」……………相手局がスピーカーマイクや、伝言メモ受信をしない設定の無線機の場合
- 録音時間、録音件数は販売店での保守設定により異なります。

2 テンキーよりメッセージを入力する

☐を押すごとに、かな→カナ→英字→数字と
入力するモードが切り替わります。

☐を押すと定型メッセージを表示します。

メール作成
■
定型 ◆ 入力 かな

3 送信メール本文を作成します

最大24文字まで入力できます。

メール作成
さぎょうしゅうり ょう
定型 ◆ 入力 かな

4 送信を押す

「ピッポー」と鳴り、相手局にメールを送ったこと
を知らせます。

確認
メールを 送信しました

通話 通話
1 0 号車
モード : 個別 03:00
録音 ◆ メニュー

相手局にメールを送る

1 P.35の手順1～3の操作をして ☐ (▼) を押し、「1 メール送信」 を選択する

テンキーより ① を押すことでも選択できます。

メニュー
1 メール送信
2 伝言メモ送信
3 取消セルメール送信
☐ ◆ 選択 ☐

参 考

- 手順3で ☐ を押すと、1文字ずつ消去されます。
- ☐ を押し続けると入力文字を全て消去します。

伝言メモ、メールを送る（つづき）

メールを再度送信するには

- 1  (メニュー) を押し、「5 送信メール履歴」を選択し、 (選択) を押す
テンキーより  (5) を押すことでも選択できます。
送信したメールを確認できます。
送信成功した場合は○、送信失敗した場合は×が表示されます。
- 2  (▲、▼) を押し、再度送信したいメールを選択し、 (選択) を押す
- 3  (再送) を押す

送信メール履歴

○ 9 9 9 指令
× 0 2 0 班長

◆ 選択 切替

送信メール本文

さぎょうしゅうりょう

発呼 再送

参 考

- メール送信に失敗したときは、「ピーツ」と鳴り、次のようなメッセージが表示されます。
「送信失敗」・・・相手局がm cAccess eサービスエリア外や電波の弱い地域にいるため受信できなかったとき
「メール空なし」・・・相手局の受信容量が最大のとき
「機能なし」・・・相手局がスピーカーマイクや、メール受信をしない設定の無線機の場合
- 手順1、2で  (クリア) を押すと、1件ずつ消去されます。
- 手順2で  (発呼) を押すと、相手局あてに発信します。
- 手順1で  (切替) を押すと、受信メール画面へ切り替わります。

伝言メモ、メールを確認する

相手局からの伝言メモ、メールを受信し、確認することができます。
確認していない伝言メモ、メールがある場合は  が点灯されます。
メールが一杯の場合には  が点灯します。

1 0 号車

 ▼  

届いたメールを確認する

- 1  (メニュー) を押し、「4 受信メール履歴」を選択し、 (選択) を押す
テンキーより  (4) を押すことでも選択できます。
伝言メモまたはメールを送ってきた相手局の名称または番号が表示されます。
- 2  (▲、▼) で確認したいメール ( または ) を選択し、 (選択) を押す

受信メール履歴

 9 9 9 指令
 9 9 9 指令
 9 9 9 指令

◆ 選択 切替

	未確認	確認済
伝言メモ		
メール		

受信メール本文

事務所へ至急連絡してください。

0 4 5 6 6 6 6 6

▼ 発呼 返信

伝言メモ、メールを確認する（つづき）

3  (▼) を押し、次のページを表示する

-  (返信) を押しと、メール作成 (P 37) して相手局に返信できます。
-  (発呼) を押しと、相手局あてに発信します。

受信メール本文
6 6。
▲  発呼  返信

4  を押す

メール確認を終了し、元の画面に戻ります。

届いたメールを消去する

1 「届いたメールを確認する」の手順 2、3 でメール表示中に  を押す

確認
受信メールを 1 件消去 しました

参 考

- 確認済のメールは、P 39 の手順 1 でも消去できます。
- P 39 の手順 1 で  (切替) を押しと、送信メール履歴画面へ切り替わります。

伝言メモを再生する

1 P 39 の手順 1 の操作をして
 (▲、▼) を押し、再生したい伝言メモ ( または ) を選択し、 (選択) を押す

伝言メモが再生されます。
再生が終了すると、P 39 の手順 1 の画面に戻ります。

伝言メモ再生
 再生中
◆  発呼  停止

伝言メモを消去する

1 伝言メモ再生画面で  を押す
P 39 の手順 1 の画面に戻ります。

確認
受信メールを 1 件消去 しました

参 考

- 伝言メモの受信件数は、販売店での保守設定により変更できます。
- 再生を途中で停止するときは、 (停止) を押してください。
-  (発呼) を押しと、再生が止まって相手局あてに発信します。

自ゾーンを切り替える

ゾーンを切り替えて通信することができます。

- 1  (メニュー) を押し、「8 自ゾーン切替」を選択し、 (選択) を押す
テンキーより  (8) を押すことでも選択できます。
現在の設定が  で表示されます。

- 2 切り替えたいゾーンを選択する
 (▲、▼) を押すと、選択ゾーンまたは切り替え方法が替わります。2秒以上押し続けると3ページごとにスキップ表示されます。

- 3  (決定) を押す
「プププ」と鳴り、設定が完了したことを知らせます。

自ゾーン切替
☒ ホーム優先
☐ 感度優先
☐ 北新横浜
◆ 決定

自ゾーン切替
☒ ホーム優先
☐ 感度優先
☐ 北新横浜
◆ 決定

確認
ゾーン設定をしています

1秒後

確認
感度優先を設定しました

参 考

- 感度優先
電波の強いゾーンへ自動的に切り替わります。
- ホーム優先
ホームゾーンのエリアでは、ホームゾーンへ切り替えます。ホームゾーン以外のエリアでは、電波の強いゾーンへ切り替わります。
- ゾーンを切り替えるには、複数ゾーンサービスへの加入が必要です。
-  (▲、▼) で表示されるゾーン名称は、あらかじめ販売店での保守設定が必要です。
- 手順3でゾーン設定している間は、回線表示ランプが赤色に点灯し、発信、着信ができません。その際、しばらく時間がかかる場合があります。

広域接続先を切り替える

接続先を指定し、他のゾーンにいる無線局と通信することができます。
接続先のゾーンは、あらかじめ局番号帳に設定しておくことができます。
局番号帳の設定により、接続先のゾーンを切り替えることができます。

広域接続先を変更する

例) 広域接続先を「横浜」から「北新横浜」へ変更する場合

- 1  (メニュー) を押す

- 2  (▲、▼) を押し、「0 その他」を選択する
テンキーより  (0) を押すことでも選択できます。

- 3 広域ゾーン設定を選択し、 (選択) を押す

現在設定中の広域接続ゾーン名称または番号が表示されます。

- 4  (▲、▼) で変更したいゾーン番号を選択し、 (地域) を押す

現在の設定が  で表示されます。

- 5 設定したいゾーンを選択する
 (▲、▼) を押すと、選択ゾーンが替わります。2秒以上押し続けると3ページごとにスキップ表示されます。

メニュー
1 メール送信
2 伝言メモ送信
3 取消メール送信
◆ 選択

その他
広域ゾーン設定
ユーザ切替
自局情報
◆ 選択

広域ゾーン設定
1 横浜
2 八王子
3 新宿
◆ 決定 地域

広域ゾーン 1 設定
☒ 横浜
☐ 北新横浜
全解除
◆ 選択

広域接続先を切り替える（つづき）

6  (**選択**) を押す

広域ゾーン設定
1 北新横浜
2 八王子
3 新宿
◆ 決定 地域

7  (**決定**) を押す

「プププ」と鳴り、設定が完了したことを知らせます。

確認
広域ゾーンを 設定しました

参 考

- 広域接続で通信するには、広域接続サービスへの加入が必要です。
- 接続先ゾーン最大数は、地域によって異なります。
- 表示するゾーン名称は、あらかじめ販売店での保守設定が必要です。
- 「全ゾーン」を選択すると、2ゾーン目、3ゾーン目の設定は解除されます。
- ご使用中に、基地局からの情報により、ゾーンが増える場合があります。

広域接続先を解除する

1 P 43の手順5で「全解除」を選択し、 (**選択**) を押す

広域ゾーン設定
1
2
3
◆ 決定 地域

2  (**決定**) を押す

「プププ」と鳴り、解除されたことを知らせます。

確認
広域ゾーンを 設定しました

ユーザーを切り替える

ユーザーが複数ある場合、ユーザーを切り替えて通信することができます。

1  (**メニュー**) を押す

メニュー
1 メール送信
2 伝言メモ送信
3 取消セルコール送信
 ◆ 選択 

2  (**▲**、**▼**) を押し、
「0 その他」を選択する

テンキーより  を押すことでも選択できます。

その他
広域ゾーン設定
ユーザ切替
自局情報
◆ 選択

3 「ユーザ切替」を選択し  (**選択**) を押す

現在の設定が ☒ で表示されます。
ユーザーの名称または番号が表示されます。

ユーザ切替
☒ 東横運輸
☐ 綱島物流
☐ 鴨居運輸
◆ 決定

4  (**▲**、**▼**) を押し、切り替
えたいユーザーを選択する

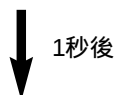
ユーザ切替
☒ 東横運輸
☐ 綱島物流
☐ 鴨居運輸
◆ 決定

ユーザーを切り替える（つづき）

5 (決定) を押す

「プププ」と鳴り、設定が完了したことを知らせます。

確認
ユーザ設定 しています



確認
ユーザを 設定しました

参 考

- 移動局情報の更新などにより、ユーザーが変更される場合があります。ユーザーの内容が変更された場合、「ピー」と鳴り、「注意 ユーザ情報を更新しました」と表示されます。選択していたユーザーが抹消された場合、「ピー」と鳴り、「注意 ユーザ切替をして下さい」と表示されます。
- ユーザーを切り替えるには、複数ユーザーサービスへの加入が必要です。
-  (▲、▼) で表示されるユーザー名称は、あらかじめ販売店での保守設定が必要です。
- 手順5でユーザー設定している間は、回線表示ランプが赤色に点灯し、発信、着信ができません。その際、しばらく時間がかかる場合があります。
- 複数待受サービスに加入しているユーザーを選択すると、自動的に着信ユーザー（サブユーザー）設定されます。

自局情報を確認する

1 (メニュー) を押す

メニュー
1 メール送信
2 伝言メモ送信
3 取消コール送信
  選択 

2 (▲、▼) を押し、 「0 その他」を選択する

テンキーより  を押すことでも選択できます。

その他
広域ゾーン設定
ユーザ切替
自局情報
◆ 選択 □

3 「自局情報」を選択し、 (選択) を押す

自局の情報が表示されます。

ユーザ：現在使用しているユーザー名称または番号

自ゾ：自ゾーン

自局が現在位置するゾーン

自番：自局の個別番号

自局情報
ユーザ：綱島物流
自ゾ：横浜
自番：0 0 0 9
▼ 確認

4 (▼) を押す

自局が着信するグループ番号が表示されます。

自局情報
着グループ
・ 0 1 0
・ 3 0 0
◆ 確認

自局情報を確認する（つづき）

- 5  (▼) を押す
移動局機体番号が表示されます。

自局情報
移動局機体番号
0 2 - 0 0
0 0 0 0 1 5 2 5
▲ 確認

- 6  (確認) を押す
待受画面に戻ります。

参 考

- 複数ユーザー待受設定されている場合は、着信ユーザーの情報が手順4で表示されます。
サブ：着信ユーザー（サブユーザー）の名称または番号
サ番：着信ユーザー（サブユーザー）の個別番号
サブ着グループ：着信ユーザー（サブユーザー）の着信グループ番号

コントラストを調整する

テンキースピーカーマイクの表示コントラストを調整することができます。

- 1  (メニュー) を押す

メニュー
1 メール送信
2 伝言メモ送信
3 取消セーブル送信
 ▲ 選択 ▼ 

- 2  (▲、▼) を押し、
「0 その他」を選択する
テンキーより  を押すことでも選択できます。

その他
広域ゾーン設定
ユーザ切替
自局情報
▼ 選択 ▲

- 3 「コントラスト調整」を選択し、
 (選択) を押す
現在のコントラスト値が表示されます。

コントラスト調整
■ ■ ■ □ □ □ □
淡 ← → 濃
▼ ▲

- 4  (▲、▼) を押し、コントラストを調整する
 (▲) を押すと濃く、 (▼) を押すと淡くなります。
表示は目安です。
 (▲) を3回押すと、1マス変わります。

コントラスト調整
■ ■ ■ ■ ■ □ □
淡 ← → 濃
▼ ▲

- 5  を3回押す
待受画面に戻ります。

詳細確認

局番号帳に登録された情報の詳細を表示します。

1 P 19の手順 1、 2で詳細確認する局を選択し、 (**選択**) を押す

メニュー
1 メール送信
2 伝言メモ送信
3 取消セルコール送信
 選択 

2  (**▲**、 **▼**) を押し、
「 0 その他 」を選択する
テンキーより  を押すことでも選択できます。

その他
広域ゾーン設定
ユーザ切替
自局情報
 選択

3 「 詳細確認 」を選択し、 (**選択**) を押す
通信モード、ユーザー、存在圏内であるゾーン、
広域接続先ゾーンを表示します。
 (**発呼**) を押すと、相手局に発信します。

1 0 号車
モード : 個別 0010
ユーザ : ユーザ 0 1
自局 : ゾーン 0 2
発呼

グループ設定

送信先グループ番号、待ち受け着信グループ番号を設定します。

1  (**メニュー**) を押し、「 * グループ
設定 」を選択し、 (**選択**) を押す
テンキーより  を押すことでも選択できます。

グループ設定
グループ番号を 入力して下さい
決定

2 テンキーでグループ番号を入力し
ます

グループ設定
1 0 0
決定

3  (**決定**) を押す
「 プププ 」と鳴り、待受け画面に戻ります。
送信先グループ番号が設定されます。
待ち受ける着信グループが設定した相手に変わります。

確認
グループ設定 をしました

参 考

- グループ設定するには、販売店で保守設定が必要です。

状態を設定する

状態を設定する

- 1

メニュー

を押し、「# 状態設定」を選択し、

選択

を押す

テンキーより

#

7

を押すことでも選択できます。
現在の設定が

✓

で表示されます。

2

▲ ▼

を押し、状態を選択する

3

決定

を押す

「プププ」と鳴り、設定が完了したことを知らせます。
- 状態設定

通知解除

☐

食事中

☐

荷物搬送

◆

決定

状態設定

通知解除

☒

食事中

☐

荷物搬送

◆

決定

確認

食事中 を
設定しました



Y.II

10号車

食事中

▼

メニュー

参 考

●待受け画面に状態を表示するには、販売店での保守設定が必要です。

●自局の状態をコントロールステーションに知らせることができます。

●設定により、状態を設定すると、自動発呼することもできます。販売店にご相談ください。

状態の設定を解除する

- 1

P 5 2の手順 2で「通知解除」を選択し、

決定

を押す

「プププ」と鳴り、設定が完了したことを知らせます。

確認

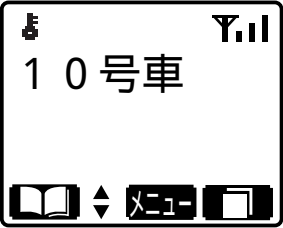
状態を
解除しました

キーロック設定・解除

キーロック設定・解除を設定できます。

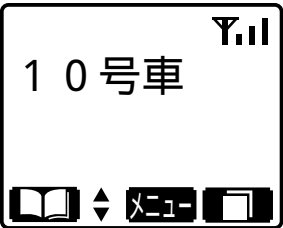
キーロックを設定する

- 1** 待受け画面で **(#)** を 1 秒以上押す
「プププ」と鳴り、「**🔒**」が表示され、設定が完了したことを知らせます。



キーロックを解除する

- 1** 待受け画面又は通話画面で **(#)** を 1 秒以上押す
「プププ」と鳴り、「**🔒**」が消え、解除が完了したことを知らせます。



ケタ数 / 件数一覧

設定項目	登録範囲（最大）	登録件数（最大）
移動局番号（個別番号）	5ケタ（1～16383） 3ケタ（1～999）	－
グループ番号	3ケタ（1～999）	－
相手局名称	全角 5文字	100件
よみかな	カナ、英数字 4文字	
再発信可能な履歴		発信履歴 10件 着信履歴 10件
ユーザー名称	全角 5文字	24件
無線ゾーン名称	全角 5文字	300件
状態通知内容	全角 5文字	20件
定型文内容	全角 12文字	30件
受信メール内容	全角 96文字	10件
送信メール	全角 24文字	10件

・各種登録範囲、登録件数は販売店の保守設定により異なります。

参 考

- 待受け画面でのキーロック中はプレスキー、電源キー以外は無効です。
- 通話画面でのキーロック中はプレスキー、電源キー、**↕**キー以外は無効です。

メッセージ一覧

本機で表示されるメッセージは、以下の通りです。

メッセージ内容	説明
機体番号 N G	移動局機体番号未実装時
移動局情報を抹消しました	移動局情報抹消時
移動局情報を停止しました	移動局情報全ユーザー停止時
注意 ユーザ情報を更新しました	ユーザー情報自動更新時
注意 ユーザ切替をして下さい	ユーザー情報切替警告時
移動局情報をダウンロードしています	電源投入時
伝言メモ 録音中 残 * * 秒	伝言メモ受信時
〇 〇 〇 〇 〇 呼出しあり	セレコール受信時 不在着信時
〇 〇 〇 〇 〇 接続中	相手局表示時
接続中	相手局無表示時 (グループ、全グループ、 全グループ一斉を発呼したとき)
予約 しばらくお待ち下さい	発呼予約
発呼失敗 相手局圏外	個別発呼の相手局圏外

メッセージ内容	説明
発呼失敗 相手局話中	個別発呼の相手局話中
発呼失敗	その他発呼失敗時
ユーザが 異なります	発呼(送信)時ユーザー が異なる場合
メールを 送信しました	メール送信時
成功	セレコール、 取消セレコール送信時
伝言メモ 録音中 残 * * 秒	伝言メモ送信時
〇 〇 〇 〇 〇 メール空なし	メール、伝言メモ送信時
〇 〇 〇 〇 〇 他局呼出中	セレコール、 伝言メモ送信時
〇 〇 〇 〇 〇 機能なし	メール、伝言メモ、 セレコール送信時
〇 〇 〇 〇 〇 送信失敗	
電源オフ	電源切断時
ユーザ設定を しています	ユーザー設定中
ゾーン設定を しています	自ゾーン設定中

メッセージ内容	説明
音量調整は できません	無線機本体の音量つまみ を使用時
ユーザを 設定しました	ユーザー設定時
ユーザ設定に 失敗しました	ユーザー設定を失敗
履歴が 1 件も ありません	履歴なし
発信履歴を 全件消去 しました	発信履歴消去
着信履歴を 全件消去 しました	着信履歴消去
送信メールは ありません	送信メールなし
受信メールは ありません	受信メールなし
送信メールを 1 件消去 しました	送信メール消去
受信メールを 1 件消去 しました	受信メール消去
送信メールを 全件消去 しました	送信メール全件消去

メッセージ内容	説明
受信メールを 全件消去 しました	受信メール全件消去
未確認メール のため消去 できません	受信メール消去不可 (未読のため)
〇 〇 〇 〇 〇 を 設定しました	状態設定 自ゾーン切替ゾーン指定 設定時
状態を 解除しました	状態解除時
通話メモ録音 開始しました	通話メモ録音設定時
通話メモ録音 停止しました	通話メモ録音解除時
ホーム優先を 設定しました	自ゾーン切替設定時 (ホーム)
感度優先を 設定しました	自ゾーン切替設定時 (感度)
ゾーン設定に 失敗しました	自ゾーン設定失敗時
広域ゾーンを 設定しました	広域ゾーン切替設定時

参 考

- メッセージ画面は基本的に最新のものが優先されます。
例外としてマルチコール受信時のセレコール受信中画面だけは優先順位があり、
上書きされません。
ただし、セレコール受信中画面で警告表示画面(ユーザ情報更新)の場合は上書
きされます。

保守

日常の保守

- 本体の取り付けがゆるんでいないか、アンテナ、電源ケーブル、マイクは確実に接続されているか確認してください。
- m cAccess eサービスエリア内で通話に支障がないか注意してください。
- 本体が汚れたときは、乾いた布でふいてください。
アルコールやシンナーでふくと、塗装がはげたり、くもりが生じたりすることがありますので使わないでください。

定期保守

- 年に 1回は、サービス担当会社で定期点検を受けるようにしてください。

故障と思われる前に

ちょっとお調べください

こんなときは	ここをお確かめください
電源が入らない	移動局の場合 ● 電源スイッチは入っていますか？ ● 電源ケーブルがはずれていませんか？ ● 車のバッテリーは大丈夫ですか？ ● ヒューズが切れていませんか？ 管理移動局の場合 ● 無線機本体と AC電源装置の電源スイッチは入っていますか？ ● 電源ケーブルがはずれていませんか？ ● AC電源装置の電源プラグがコンセントからはずれていませんか？ ● AC電源装置のヒューズが切れていませんか？ ● ブレーカーまたはヒューズが切れていませんか？
圏内にならない	● アンテナケーブルは接続されていますか？ ● 今いる場所はサービス圏内ですか？ （サービス圏内であってもトンネル内やビルの谷間などでつながりにくいことがあります） ● 登録ゾーンは合っていますか？ （複数ゾーンを使用しているとき）
音が聞こえない	● テンキースピーカーマイクの音量調整が最小になっていませんか？ ● 無線機本体の音量つまみを左いっぱいに回していませんか？（設定により、無線機本体の音量つまみが有効の場合）
受信音声小さい	● 発信側でのマイク利用の際、マイクから口を遠く離して使用していませんか？
受信音声割れる 歪む	● 発信側でのマイク利用の際、マイクに口を近づけすぎて使用していませんか？
無線機が温くなる	● 通話を続けていると温度が上昇します。
音が途切れる	● 電波が弱い地域や移動しているときには音が途切れることがあります。
周波数設定 0 0 0 1 リザーブバンド バ切 決定 と表示される	● しばらくお待ちください。しばらく待っても変わらない場合は、販売店にご相談ください。

■ すぐに販売店に

- 以下のような状態のときは電源スイッチを切り、管理移動局の場合は AC電源装置の電源プラグも抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。
 - 1) 運用中に焦げくさい臭いがする
 - 2) ヒューズがたびたび切れる
 - 3) 誤って水や異物を入れてしまった

用語・機能説明一覧

無線機・無線局

移動局	車載用として使用する無線局
管理移動局	営業所などの固定された場所で使用し、通信の管理を行う無線局

通信モード

個別通信	1対 1の通信
グループ通信	全体を特定の小グループに分けて行う通信
全グループ通信	同一ユーザーの無線局が行う通信
全グループ一斉通信	同一ユーザー内の全ての通信を終了し、管理移動局が優先通話を行う全グループ通信
システム一斉通信	移動無線センターからの通信

通信形態

単信通信	プレストークスイッチを押して通信する通信形態
複信通信	プレストークスイッチを押さなくても電話機と同様の双方向通話ができる通信形態
半複信通信	発信側は複信通信、着信側は単信通信となる通信形態
広域通信	ゾーン（通話範囲）やユーザーを切り替えて行う広範な通信

ユーザー

ユーザー	同一のユーザーコードを持つユーザー
ユーザー切替	自局が所属しているユーザーの切り替え

グループ

グループ	ユーザー内をいくつかに分けた小団体
所属グループ番号	自局が所属するグループの番号

ゾーン

ゾーン	1つの中継局の通話範囲
自ゾーン	現在自局が位置するゾーン
ホームゾーン	自局が通常所属するゾーン
広域接続	現在自局が位置するゾーン（通話範囲）以外のゾーンと接続し、通話やデータ伝送を行う通信
ゾーン切替	自ゾーンの切り替え

その他

伝言メモ	不在の相手局に伝えたい情報を録音する機能
メール	文字メッセージを送る機能
通話メモ	通話の途中で残しておきたい内容を録音し、必要に応じて再生する機能
選択呼出	特定の相手局のみを呼び出し、呼び出された相手局では着信音が鳴り続ける機能
マルチコール	着信音（ピッポー）が鳴り続ける機能
モノコール	着信音（ピッポー）を鳴らす機能
不在着信	個別通信で呼び出された相手局が応答しない時、着信音（ピッポー）が鳴り続ける機能
不在着信音	着信音（ピッポー）が鳴り続ける機能

仕様

■ 本体

外形寸法	約 58 (W)mm × 約 35 (D)mm × 約 138 (H)mm
質量	約 250g (ケーブルを含む)
電源電圧	9 V
消費電流	連続動作時：約 220 mA
音声出力レベル	-10 dBm
信号速度	シリアル (独立同期式) 9600 bps
スピーカー定格出力	1.5 W (8 Ω)

保証とアフターサービス

保証書 (別添付)

- 必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保存してください。
保証期間は買い上げ日から1年間です。

保証期間中の修理

- P.59の表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源スイッチを切って、お買い上げの販売店へご連絡ください。
保証書の規定に従って修理をさせていただきます。

保証期間後の修理

- お買い上げの販売店にご相談ください。